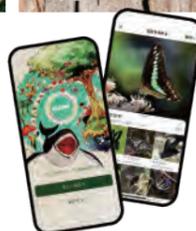


上記は全てアプリBiomeにて  
実際に投稿されたいきもの写真です。  
アプリのダウンロードはこちら ▶▶▶



 **BIOME**

TEL 075-432-7622 MAIL [info@biome.co.jp](mailto:info@biome.co.jp)

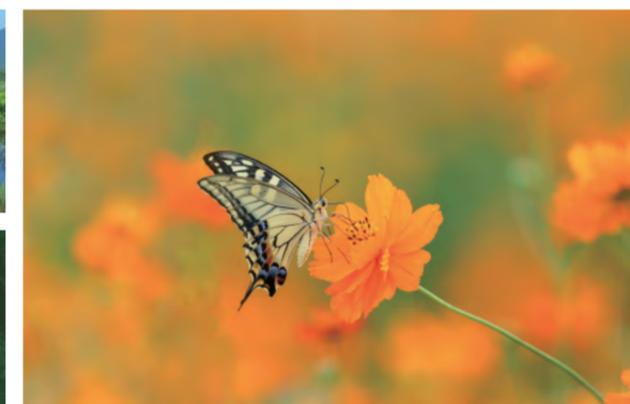
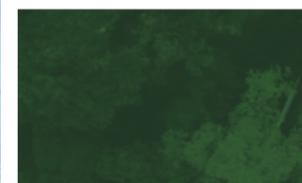
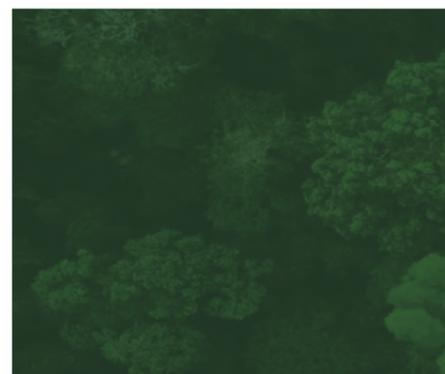
- 本社オフィス 京都市下京区中堂寺南町134 番地 ASTEMビル8階
- 四条烏丸オフィス 京都市下京区綾小路通新町東入善長寺町143 マスギビル305

<https://biome.co.jp>



ウェブサイト内関連キーワード▼

生物データプラットフォーム／アプリ／生物調査／OECM／自然共生サイト／地方創生／  
イベント／環境教育／政策立案／施策評価／グリーンインフラ／ランドスケープ／  
生物目録（インベントリ）／保護区／生物多様性ホットスポット



生物多様性を、一気通貫で。

 **BIOME**

<https://biome.co.jp>

# 生物多様性の保全を 社会の当然に。

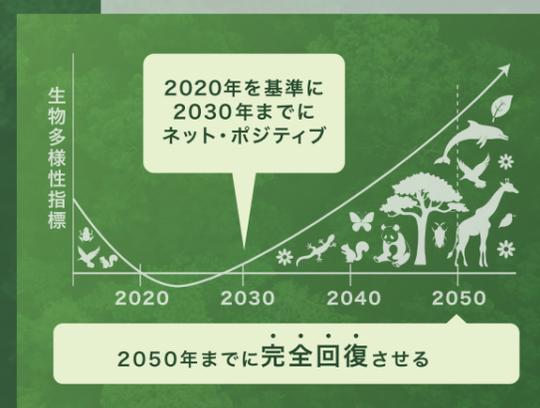
## About us

私たち株式会社バイオームは、生物多様性の保全があたりまえとされる社会の実現を目指し、「環境保全をビジネスにすること」にチャレンジしています。生物多様性に関する独自のビッグデータと可視化技術を駆使して、科学と社会を繋ぎ、生物多様性の保全を実現するプラットフォームを構築・運営しています。



## 求められる ネイチャーポジティブ社会への移行

社会は気候変動対策に続き、生物多様性の損失を止める「ネイチャーポジティブ」への移行を企業に求めています。自然資本の回復への貢献を経営の根幹に据えるという新たな価値創造の時代に向けて、私たち株式会社バイオームは、企業のネイチャーポジティブを強力に支援します。



自然のための世界目標  
(2030年までのネイチャーポジティブ)

## Index

About us & Index	..... P 01~02
Product	..... P 03
Service	..... P 04
Service & 導入事例	..... P 05~10





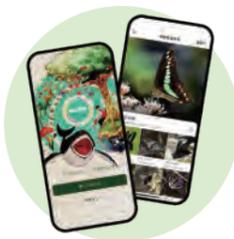
## Product

Biomeシリーズは、生物多様性に関するデータの収集から、蓄積、高度な解析、そして実用的なアウトプットまでを、一気通貫で行っています。自然環境の保全や研究、ビジネスにおける意思決定を、確かなデータに基づき加速させます。



## Service

Biomeシリーズをはじめとするプロダクト群を柔軟に組み合わせることで、お客さまの抱える多様な地域課題に最適なサービスをご提供します。データに基づいた確かなアプローチで、地域にとってかけがえのない生物多様性の保全を強力にサポートし、持続可能な未来の実現に貢献します。



バイオーム



<https://biome.co.jp/app-biome/>

### いきものコレクションアプリ

日本の動植物ほぼ全て(約10万種)に対応した独自の名前判定AIを備えた市民参加型の生物情報収集アプリです。「クエスト」「図鑑」「マップ」「SNS」など、いきもの探しや生物調査を一層楽しめるような機能を備えており、企業や自治体の生物多様性施策の可視化・データ取得・環境教育・地域共創を実現します。



バイオームサーベイ



<https://biome-survey.com/>

### 生物調査の内製化と省力化を実現

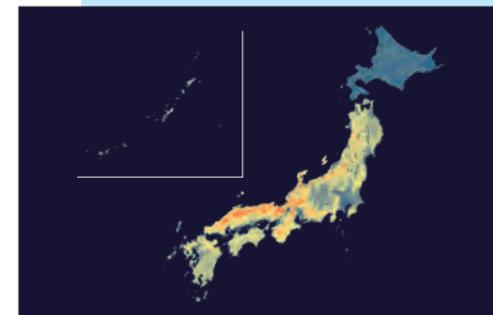
従来は専門任せだった調査業務の内製化・省力化を実現します。直感的な操作性と、国内最大級の生物データベースに裏打ちされた生物種の同定を支えるAI技術を搭載したツールです。

### TNFD・非財務情報開示支援

独自の生物多様性ビッグデータを活用してTNFD情報開示を支援します。初期診断からデータ収集、データをもとにした高精度な解析やアクション策定まで、最適なご提案をさせていただきます。

### いきもの探し企画・イベント

アプリ「Biome (バイオーム)」を活用した企画やイベントの実施を支援します。データ取得・可視化のほか、環境意識の醸成や地方創生など多様な価値を提供します。



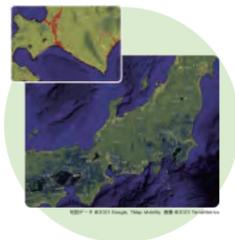
バイオームデータベース



<https://biome.co.jp/products/biomedb/>

### 国内最大級のリアルタイム生物ビッグデータ

日本全国からリアルタイムで集積される市民科学データと、研究機関等の信頼性あるオープンデータを統合した、国内最大級の生物多様性データ基盤です。



バイオームビューア



<https://biome-viewer.com/>

### 全国を網羅した生物多様性分析ツール

高解像度・高精度の推定技術をもとに、国内各種生物の分布を可視化するマッピングツールです(公式ツールカタログに掲載されています)。地域に生息・生育する可能性のある生物種をつぶさに把握し、効果的な生態系保全の施策につなげます。

### 生物調査の内製化

生物調査の内製化を支援します。生物調査ツール「BiomeSurvey」は、専門知識不要で、誰でも環境調査が可能です。スマホ撮影でAIが約10万種を同定し、データをリアルタイムで記録します。

### 自然共生サイト(OECM) 認定支援

自然共生サイトをはじめとする緑地認証について包括的に支援します。適地選定・生物調査・認定申請を支援するほか、認定後のモニタリングまで対応し、長期的な生物多様性保全をサポートします。





Service1

# TNFD・ 非財務情報開示支援

ご予算：500万円～

弊社独自の国内最大級の生物多様性ビッグデータを活用し、TNFD情報開示を支援します。

- TNFD情報開示に着手したいが何から始めて良いかわからない
- 1回目の開示はしたが、解像度や分析精度を上げた2回目以降の開示を行いたい
- もっとクオリティの高い情報開示やアクションを盛り込んだ情報開示を行いたい

左記のように、TNFD情報開示におけるステージは企業によって様々です。弊社はLEAPアプローチに沿った分析・評価はもちろんのこと、データ収集、収集したデータや弊社独自のデータをもとにした高精度な解析や戦略・アクション策定まで、お客様に応じて最適なご提案をさせていただきます。

## 地域の 自然資本評価の分析 Locate

1

## TNFD・非財務情報 開示支援のステップ



弊社の1,000万件を超えるデータとオープンデータを活用し、自然資本を高解像度で分析します。「要注意地域 (Sensitive locations)」と「マテリアルな地域 (Material locations)」の考え方にに基づき「優先地域 (Priority locations)」を評価します。

## 地域性を加味した各事業 セクターのリスク・機会評価分析 Assess

3

整理した依存・影響関係からリスク・機会の導出及び評価を行います。また、依存・影響関係だけでなく、弊社のデータを加味することで、市区町村レベルで、事業毎のリスクを判別可能になります。

## 社内向けセミナー・ 勉強会の実施 Prepare

5

社内での生物多様性保全に関する意識醸成のため、社内向けにセミナーや勉強会が実施可能です。生物多様性に関する国際会議やWGに参画するメンバーや生態学の専門家等、多彩なバックグラウンドを持つメンバーがセミナーや勉強会を実施します。

2

## 自然資本への依存・ 影響の分析 Evaluate

セクター毎の依存・影響関係の整理を行い、依存する生態系サービスや影響要因を特定します。また弊社の評価指標で**在来種の多様性や希少種の生息ポテンシャルが分析・評価できる**ほか、依存・影響関係の詳細な分析や**事業のポジティブインパクトの評価を実施**します。

4

## アクションプランの作成 Prepare

特定したリスク・機会に対して具体的なアクションプランを検討します。弊社のデータを活用した**具体的な種に注目したアクションプラン**や、アプリ「Biome」での市民を巻き込んだアクションプランの実施、クローズドな調査が可能な「Biome Survey」を用いた調査も実施可能です。

6

## TNFDレポートの作成 Prepare

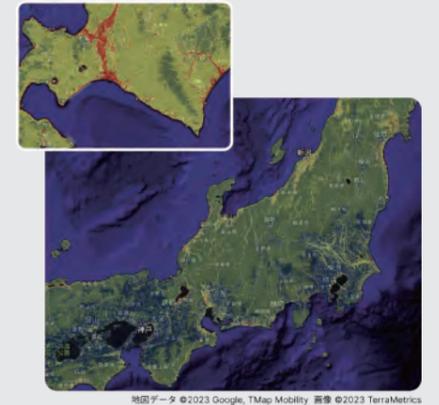
LEAPアプローチで分析した内容に加え、これまで貴社で実施してきた生物多様性保全に関する活動を踏まえたTNFDレポートを作成します。他社の先進的な事例・国際的な生物多様性に関する動向・枠組みやその他の非財務情報開示に関する最新情報を踏まえ、TNFD開示推奨項目に沿った文案作成を支援します。

## TNFD・非財務情報開示支援 導入事例

### KDDI株式会社様

- 全国に数十万基ある基地局の自然資本の分析・評価
- レポート作成

KDDI株式会社は、自然関連財務情報開示タスクフォース (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、以下TNFD)が発行したTNFD最終提言v1.0を参照し、自然資本や生物多様性に関するKDDIの考え方を示す「TNFDレポート2023 v1」「TNFDレポート2023 v2」を公開しました。レポート作成にあたり、生物多様性可視化サービス「BiomeViewer (バイオームビューア)」を用いて、通信事業に関わる拠点を網羅的に対象とした生態系のリスク評価を行いました。



地図データ ©2023 Google, TMap Mobility 画像 ©2023 TerraMetrics

### 東急株式会社様

- TNFDレポートの開示に向けた全体支援
- 社内向けイベントの実施

東急株式会社は、LEAPアプローチやSBTNの5ステップアプローチに準拠し、弊社のデータを活用した分析を行いました。具体的には、4つの事業(交通事業、不動産事業、ホテル・リゾート事業、生活サービス事業)に紐づけられる**102のグループ会社・648拠点に関して分析**を行い、最優先拠点として、二子玉川ライズおよび多摩川周辺拠点と、宮古島東急リゾート周辺拠点の2地域を特定しました。これらの2地域において、地域に紐づいたより具体的な依存・影響関係の整理、リスク・機会の特定を行い、対応策と14の開示推奨項目ごとに内容を整理して**すべての開示文案**を作成いたしました。



BiomeViewerは  
TNFDの公式ツールカタログ  
にも記載されています。





Service2

## いきもの探し企画・イベント

ご予算：20万円～(イベント単体) / 250万円～(クエスト)



Service3

## 生物調査の内製化

ご予算：20万円 / 月～

- アプリによるステークホルダーとの協働調査
- 内部報告資料作成
- イベント企画

いきものコレクションアプリ「Biome (バイオーム)」を活用した企画やイベントの実施を支援します。本アプリは、ユーザーがいきものを撮影してコレクションしながら楽しめるツールで、企業様にとって多様な価値を提供します。



### アプリBiome(バイオーム)使用による効果

#### ● 集客・取組のPR

アプリを使った自然観察イベントやキャンペーンで認知向上や来客数の増加に貢献する他、貴社お取り組みのPRにもつながります。

#### ● 社員の意識醸成

社員や社員のご家族参加型の研修を実施することで貴社社員のネチャーポジティブや生物多様性への理解促進・意識醸成を図ります。

#### ● 生物データ収集

貴社専用の生物データを収集し、環境保全や事業活用、**TNFD等の非財務情報の開示**等に役立てられます。

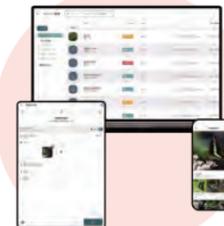
#### ● エンゲージメント向上

アプリを通じた体験が貴社ブランドへの親近感や信頼感を高めます。

- BiomeSurveyのご提供
- BiomeSurveyのレクチャー

以下はオプションとなります。費用はご相談ください。

- 収集データの分析
- 収集データと弊社の生物多様性データをもとにしたサイトシナリオ分析



生物調査の内製化を支援します。生物調査ツール「BiomeSurvey」は、『誰でも環境調査を』をコンセプトに、専門知識不要で操作可能です。スマホ撮影でAIが約10万種を同定し、データをリアルタイムで記録します。貴社の目的に合わせ、調査設計から解析まで一気通貫でご支援します。



いきもの探し企画・イベント

### 導入事例

イオン株式会社様

- アプリによるステークホルダーとの協働調査
- 内部報告資料作成
- イベント企画

イオン株式会社では、いきものコレクションアプリ「Biome」を活用し、お客さまや従業員のみなさまが丸となって店舗周辺の自然を調査する「～イオン ふるさとの森づくり～いきもの調査」を実施しています。店舗の敷地内にその地域の環境に適した樹木をお客さまとともに植樹する「イオン ふるさとの森づくり」を1991年から実践・継続しています。植樹から一定期間が経過したふるさとの森では、どのような自然が育まれているのか、店舗によって異なる個性豊かな自然をお客さまと一緒に解き明かします。調査した結果は、店舗ごとにとりまとめ、レポート形式でホームページ上に公開しています。年々変化する植樹林の自然を記録していくことで、ふるさとの森が緑の拠点となり、地域のみなさまとともに成長することを目指します。



### いきもの探し企画・イベント その他の導入事例



いきものみらいラボKANSAI

実施期間：2025年10月～12月

一般社団法人関西イノベーションセンター様、  
一般社団法人うめきたMMO様、  
阪急阪神不動産株式会社様



赤坂・虎ノ門  
いきものクエスト冬編

実施期間：2025年1月～3月

日鉄興和不動産株式会社様、  
大成建設株式会社様



駅からはじまるいきもの探し  
いきものGO

実施期間：2023年9月～12月

鉄道横断型社会実装コンソーシアム  
「JTOS」様



集まれ!トンボ調査隊  
2025 秋編

実施期間：2025年9月～11月

ニチアス株式会社様

※事例は一部のみを抜粋しています。



Service4

## 自然共生サイト(OECM) 認定支援

ご予算：500万円～



Service5

## 社内研修・セミナー

ご予算：20万円/回～

### ● 自然共生サイトの適地選定

貴社の土地や事業特性を踏まえ最適な候補地を提案します。

### ● 生物調査

弊社独自の生物調査アプリ「BiomeSurvey」を活用し、効率的に収集・解析をします。

### ● 認定申請

環境省の基準に沿った書類作成や手続きを代行し、スムーズな登録を実現します。認定後のモニタリングまで対応し、長期的にサポートします。

### 申請に向けた情報収集・調査設計

1

自然共生サイト申請に必要な「生物多様性の価値」の項目から、立証可能なものを選定します。必要なデータセットや調査項目の選定を通じて調査計画を作成し、弊社独自の生物多様性ビッグデータを用いて事前情報の拡充を行います。

### 活動計画の提案

3

調査結果をもとに「生物多様性の価値」を整理し、申請地における活動計画の提案、モニタリング計画の策定を行います。

### 定期報告・モニタリング支援

5

認定後、1年に1度以上の定期報告、概ね5年ごと更新申請が要請されているため、継続的な活動と同時にモニタリングが必須となります。

## 自然共生サイト(OECM) 認定支援のステップ



2

### 文献・現地調査支援

既往文献の整理や現地調査を通じて、動植物相、植生現況、土地利用等について整理します。専門性の高い調査会社とも連携しているため、より高度な調査や環境DNA調査などもオプションに実施することも可能です。

4

### 申請書作成支援\*

上記を取りまとめ、生物多様性の状況や生態系の価値に関わる申請項目の執筆を行います。  
※申請者情報、土地所有者情報、法令順守状況等については原則としてお客様で作成いただきます。

弊社の強みでもある**アプリを用いた調査の内製化・省力化、市民との協働によるモニタリング**のご支援も可能です。

### 自然共生サイト(OECM) 認定支援

### 導入事例

#### 丸紅株式会社様

- 認定に向けた醸成整理・調査設計
- 生物調査支援
- 申請書作成支援

丸紅株式会社は、白神森林組合と能代市常盤財産区と共同で、「能代市常盤財産区の森」を自然共生サイトに申請し、令和6年度後期に認定されました。申請に当たっては、「BiomeViewer」による森の生物相の推定をもとに、調査計画を立案しました。また、バイオーム社による生物調査も実施し、40目88科254種の植物、5目10科14種の哺乳類の生息が確認されました。また、簡易調査では鳥類3目5科8種、両生類1目3科4種、節足動物10目32科96種の生息も確認されました。

生物多様性やネイチャーポジティブに関する勉強会やセミナーを通じて、貴社の取り組みを支援します。

これらの分野はわかりにくいうえに理解されづらい…というお悩みを数多くのご担当者様からお聞きします。社内の意識醸成・向上のために、専門家の立場から、事例や実績を交え、貴社に合わせた社内研修やセミナーを実施します。



### 講師紹介



**藤木 庄五郎** Shogoro Fujiki  
代表取締役 CEO

- 京都大学大学院博士号(農学)
- 環境省2030生物多様性枠組実現 日本会議行動変容WG 専門委員
- 日本自然保護協会評議員
- TNFDデータカタリストメンバー
- TNFDフォーラムメンバー



**源六 孝典** Takanori Genroku  
取締役CTO/ 開発部長

- 京都大学大学院修士号(農学)
- フルスタックエンジニア



**多賀 洋輝** Hiroki Taga  
取締役COO/ 事業推進部長

- 京都大学大学院修士号(農学)
- 京都産業大学産業生命科 客員研究員
- 日本生態学会生態系管理専門委員

### 主な受賞歴

#### 2017年

- 京都大学技術イノベーション事業化コース 最優秀賞
- EDGE KANSAI ピッチコンテスト 審査員特別賞
- KeihannaVenture Championship 特別賞

#### 2018年

- 起業家万博 審査員特別賞
- 第五回京信・地域の起業家大賞 最優秀賞
- インデペンデンツクラブ地域大賞(関西地区)
- 経済産業省 J-Startup 認定企業

#### 2019年

- 京都市目利き委員会Aランク認定
- NBK ニュービジネスアワード2019 グランプリ

#### 2021年

- インデペンデンツクラブ地域大賞(関西地区2度目)
- Japan Challenge Gate2021 中小企業庁長官賞
- Innovators Under 35 Japan 2021

#### 2022年

- 京都・知恵アントレ賞2022

#### 2023年

- 環境省「環境スタートアップ事業構想賞」
- 経済産業省 J-Startup Impact 認定

